

□■感染症情報 (H30 年第 38 週) □■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■

●トピックス

◆RSウイルス感染症について

鉾田保健所管内において、1 定点あたり第 37 週及び第 38 週について報告はありませんでした。

県において、1 定点あたり第 37 週 1.80 (国 2.46)、第 38 週 1.44 (国 2.11) と若干減少しました。保健所別にみると、つくば (5.33)、古河 (2.80) の順に多くなっています。

RSウイルス感染症は、全国においても増加傾向にあり、秋から冬にかけて流行しやすい感染症のため、今後も引き続き注意が必要です。

<RSウイルスについて>

感染経路：飛沫感染・接触感染

潜伏期間：2～8 日

主な症状：発熱、鼻汁、咳、喘鳴、呼吸困難 等

<予防方法>

- ・手洗いとうがいの徹底
- ・咳エチケット（咳などの症状がある時には、マスク着用）
- ・よく手の触れる場所や物（手すりやドアノブ、おもちゃ等）にアルコール消毒

【RSウイルス感染症（県）】

http://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/idwr/other/documents/rs_1.pdf

【RSウイルス感染症とは（県）】

<https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/kikaku/documents/201609rs.html>

【RSウイルス感染症とは（国立感染症研究所）】

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/317-rs-intro.html>

◆県内における腸管出血性大腸菌感染症の発生について

鉾田保健所管内では、第 37 週及び第 38 週の報告はありませんでした。

県において、第 37 週 4 件、第 38 週 2 件の報告がありました。

<腸管出血性大腸菌感染症について>

潜伏期間：およそ 3 日～5 日

主な症状：激しい腹痛，下痢，血便 等

合併症：乳幼児や高齢者が感染すると，溶血性尿毒症症候群（HUS）
等により重症化することがある。

<予防のポイント>

- ・調理・食事前，トイレの後に石けんと流水で十分に手を洗う
- ・食品が生肉と接触するのを避ける
- ・食品を十分加熱する
- ・調理後の食品はなるべく食べきる 等

【平成 30 年腸管出血性大腸菌感染症発生状況（県）】

http://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/idwr/sokuho/03_tyoukanh30.html

【腸管出血性大腸菌感染症とは（国立感染症研究所）】

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/439-ehc-intro.html>

◆県内における風しんの発生について

鉾田保健所管内では、第 37 週及び第 38 週の報告はありませんでした。

県において、第 37 週 9 件、第 38 週 6 件（全て海外渡航歴なし）の報告があり、今年はいくまでにも 28 件の発生となっています。

予防接種を 2 回受けていない方や予防接種歴が不明な方で、発熱，発疹等風しんを疑う症状が現れた場合は，周囲への感染を防ぐために，必ず事前に医療機関に電話連絡でその旨を伝え，医療機関の指示に従って受診しましょう。

また，妊娠 20 週頃までの妊婦が風しんに感染すると，胎児に白内障，先天性心疾患，難聴等の症状（先天性風しん症候群）が生じることがありますので，風しんにかかっている可能性のある人との接触は可能な限り避けるとともに，心配な方は，最よりの保健所やかかりつけの産婦人科医に相談してください。

【風しんの流行にご注意ください（県）】

<http://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/yobo/kiki/yobo/kansen/idwr/information/huushin/201808huushin.htm>
↓

【風しん発生情報（県）】

<http://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/kikaku/rubella/sokuho.html>

【医療機関における風しん対策ガイドライン（H26年4月3日）国立感染症研究所】

<https://www.niid.go.jp/niid/images/idsc/disease/rubella/kannrenn/iryoukikann-taisaku.pdf>

【風しんについて（厚生労働省）】

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/rubella/

【風しんとは（国立感染症研究所）】

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/ha/rubella.html>

【職場における風しん対策ガイドライン（H26年3月）

国立感染症研究所，厚生労働省】

<https://www.niid.go.jp/niid/images/idsc/disease/rubella/kannrenn/syokuba-taisaku.pdf>

【風しん（届出基準）】※診断された場合は，ただちに届出をお願いします。

<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou11/01-05-14-02.html>

【風しん発生届】

※臨床診断例については，検査結果等を総合的に勘案し，風しんでないと

判断された場合は，届出の取り下げ等にご協力いただきますようお願いいたします。

<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou11/pdf/01-05-14-02.pdf>

●感染症サーベイランス情報

【県内の保健所別報告数】

（第38週 9月18日～9月23日）

（2018年第38週までの報告数累計）

結核 13件（銚田3件，他12件）

県 346件，全国 15662件

腸管出血性大腸菌感染症 2件

県 58件，全国 3120件

（常陸大宮，常総）

レジオネラ症 3件（潮来，土浦，常総）

県 41件，全国 1442件

アメーバ赤痢 1件（古河） 県 14件， 全国 604件

カルバペネム耐性腸内細菌科
細菌感染症 1件（日立） 県 18件， 全国 1474件

梅毒 4件 県 89件， 全国 4943件
（水戸2件， ひたちなか， 土浦）

百日咳 4件（潮来2件， 竜ヶ崎， 古河） 県 57件， 全国 6585件

風しん 6件 県 28件， 全国 768件
（ひたちなか， 竜ヶ崎， つくば3件， 筑西）

★ 当メールの内容についてのお問い合わせは下記までお願いします。

茨城県銚田保健所 健康指導課

E-Mail : hokoho03@pref.ibaraki.lg.jp TEL:0291-33-2158

*****鹿行地域感染等対策ネットワーク*****

【事務局】

土浦協同病院		
なめがた地域医療センター		茨城県銚田保健所
〒311-3516		〒311-1517
行方市井上藤井 98-8		銚田市銚田 1367-3
TEL:0299-56-0600		TEL:0291-33-2158
FAX:0299-37-4111		FAX:0291-33-3136
